

# 令和3年3月定例会会議録

(令和3年3月26日)

八代市教育委員会

## 八代市教育委員会 3月定例会会議録

- 【開催日】 令和3年3月26日（金）
- 【場所】 八代市千丁支所2階 庁議室
- 【出席者】 北岡 博 教育長  
富田 壽人 教育委員  
松永 松喜 教育委員  
水田 千春 教育委員  
奥村 留美子 教育委員
- 【出席職員】 松岡 猛 教育部総括審議員兼次長  
和久田 敬史 教育部次長  
松川 由美 教育政策課長  
高嶋 宏幸 学校教育課長  
竹下 圭一郎 教育施設課長  
岩崎 龍一 生涯学習課長  
入佐 正夫 教育サポートセンター所長  
松村 哲治 博物館未来の森ミュージアム副館長  
井上 雅晴 学校教育課審議員
- 【事務局】 山本 雄二 教育政策課長補佐兼教育政策係長  
草野 弥生 教育政策課主査  
西村 妙子 教育政策課参事
- 【審議事項】 <議案案件>  
①八市教委議第2号 八代市地域学校協働本部設置要綱の一部改正について
- <報告案件>  
②報告第4号 八代市議会令和3年3月定例会について  
③報告第5号 令和2年度3月補正予算及び令和3年度当初・補正予算の概要について  
④報告第6号 第1回八代市立幼稚園規模適正化等審議会について
1. 開会 (午後3時57分 開会)
2. 教育長報告 前回の会議から今回までに参加した行事や事業、委任された事項などの中で特に重要と思われるものについて報告

### 3. 議題

〈八市教委議第2号〉 八代市地域学校協働本部設置要綱の一部改正について

岩崎生涯学習課長 令和3年度から全ての学校で地域学校協働活動が実施されることに伴い地域学校協働本部員に学校長の代表を置くに当たり要綱を改正する。

奥村教育委員 本部長はどのように決まっているのか。本部員の中から互選で決まっているのか。

岩崎生涯学習課長 本部長は教育部長である。要綱の第4条に規定している。

松永教育委員 第8条において、社会教育委員会に報告するとあるが、これでいいのか。

岩崎生涯学習課長 協働本部を評価する委員会を別に設けることもできるが、重なる部分もあるため、社会教育委員に兼ねていただいている。

〈報告第4号〉 八代市議会令和3年3月定例会について

松岡教育部総括  
審議員兼次長 3月9日、10日に行われた一般質問については、議員7人のうち2人の議員から教育部に対し質問があった。

大倉裕一議員から、新型コロナウイルス感染症に対する本市の予防対策についての項目において、教育現場で光触媒を活用したらどうかという質問に対し、文部科学省などからはまだ有効性や安全性について公表されていないため、活用は難しいと答弁した。

教育行政についての項目では、令和3年度当初予算はどのような教育方針に基づいて予算が配分されたのかという質問に対し、各計画の重点戦略や基本目標の実現に向けた教育部所管の予算33億5,676万円を計上し「学校教育の充実」「いじめ、不登校対策の充実」「教育環境の整備充実」「学校・家庭・地域の協働」の4つに区分けして答弁した。さらに八代市の最優先課題である新型コロナウイルス感染症対策及び令和2年7月豪雨災害の教育部関連予算についても答弁した。

教職員の働き方改革の予算措置についての再質問に対し、令和2年度から本格稼働している校務支援推進事業の内容・予算額等について、また、特別教育支援員など各種支援員の役割、人数、予算額について答弁した。

金子昌平議員から、令和3年度当初予算におけるICT教育

関連事業についての項目において、タブレットパソコンの活用をさらに進めるためにどのようなことに取り組んでいくのかという質問に対し、1人1台のタブレットパソコンを有効活用し、誰一人取り残すことなく児童生徒の力と可能性を最大限に引き出す教育の実現を目指すという目標と現在の学校での取り組み事例をお答えした。

また、令和3年度重点的に実施する2つの事業のうち、ICT授業サポート事業については、①ICT授業サポーターの現状、役割、3年度の増員について、②ICT教育推進校を新規委嘱、③ICT教育推進アドバイザー事業を新たに実施することの主な3つの事業を説明した。2つ目は、学校教材充実事業として中学校教師用デジタル教科書を5教科導入することについて説明した。

3年度の新たな取り組みである、ICT教育推進校とICT教育推進アドバイザー事業の具体的内容についての再質問については、両事業の具体的取り組み内容や目的について答えた。

水田教育委員 光触媒の活用とは具体的にどのようなことなのか。

和久田教育部次長 壁に塗料を塗って、光を当てると抗菌作用があるというものである。

松岡教育部総括  
審議員兼次長 経済産業省からも消臭・除菌効果があると来ているが、新型コロナウイルスに対する有効性や安全性までにはうたっていないので今の段階での学校現場での活用は難しいということである。

富田教育委員 ICT授業サポーターが4人から8人へ増員されるが、学校の回り方、活動の仕方についてなどの質問はなかったか。

松岡教育部総括  
審議員兼次長 金子議員と打ち合わせの中では、学校の訪問回数や取組が変わるかという話もあった。また8人で足りるのかという意見もあった。増員を検討中であると話をした。

奥村教育委員 ICT教育推進のため、タブレットが子供たち一人一人に渡り、一番気になっていたのが教師用タブレットである。国の予算についてなかったのが新年度予算という方向だったが、教師用タブレットはいつから活用可能となるか。また、デジタル教科書が中学校に入ることだったが、マイナスの心配をし

ないで積極的に勉強していかないとと思う反面、ずっと眺めることで視力への配慮があるから、当然数分見たら、目を離してなど学校は配慮しないといけなくなる。デジタル教科書の活用という方向性の中で、そのようなことについて、御意見や現状の話などがあるか。

松川教育政策課長 教師用タブレットについては、来年度4月の最初から教室据置き用として、各教室に1台ずつ入れることにしている。先生たちの手持ち分については、もう少し使い方の研究をさせていただいて、どうしても必要であるというニーズを確認してから入れさせてもらうつもりでいる。

高嶋学校教育課長 デジタル教科書については、今回導入するのは生徒用ではなく教師用のデジタル教科書である。教師用の指導書なので、全体に向けて、理科だったら実験の動画、資料などを大きい画面で提示をする。そのような活用が主である。子供たちへは2024年度の導入を国が計画していると聞いている。

〈報告第5号〉 令和2年度3月補正予算及び令和3年度当初・補正予算の概要について

和久田教育部次長 3月19日に可決された主なものについて、資料により説明

- ・令和2年度3月補正予算について
  - 小学校非構造部材耐震化事業
  - 中学校非構造部材耐震化事業
- 令和3年度実施予定の一部を前倒し実施するために不足する経費
- ・令和3年度当初予算について
  - 教育費41億4931万3000円、前年度5億368万1千円の減額、一般会計全体に占める割合は6.18%となっている。教育部所管分は、33億5676万円で前年度より1億3350万8千円の減、3.8%のマイナスとなっている。減額の主な理由は、教育施設課から営繕課への事務移管、教師用教科書及び指導書購入費の減額、デジタル教科書購入費の減額などである。新規に取り組む事業、令和2年度より内容充実したものなどの主なものについて資料により説明
  - 学校統合等審議会事業（新規）
    - 幼稚園規模適正化等審議会に係る経費
  - ICT授業サポート事業（新規）
    - ICT教育推進アドバイザーに係る経費

I C T授業サポート業務委託に係る経費

●学校施設非構造部材耐震化事業

小学校4校、中学校1校の外壁点検調査業務委託に係る経費

●学校教材充実事業

知能・学力テスト業務委託に係る経費

教科書採択に伴う教科書及び指導書購入に係る経費

●パソコン教育推進事業

教室用パソコンのリース料等に係る経費

●中学校通学関係事業

坂本中のスクールバス委託に係る経費

●語学指導外国青年招致事業

新型コロナウイルス感染症の影響による増加分

●中学校部活動整備事業

部活動改革の実施に係る経費

●特別支援学校通学関係事業

新型コロナウイルス感染症対策のため増便に係る経費

●学校・家庭・地域の連携協力推進事業

地域学校協働活動事業に係る経費

●博物館特別展覧会事業

開館30周年記念として開催する4回の展覧会に係る経費

・令和3年度補正予算について

●新型コロナウイルス感染症対策事業

CO<sub>2</sub>モニター購入に係る経費

富田教育委員 CO<sub>2</sub>をCO<sub>2</sub>と表示してください。(資料の修正)

奥村教育委員 教師用指導書の減額があったということだが、先生たちの人数が減ったからということか。

和久田教育部次長 今年度は、小学校の教科書改訂があったので、全小学校分の教科書、教師用指導書、デジタル教科書を購入したが、来年度はその分が不要になるということである。

〈報告第6号〉 第1回八代市立幼稚園規模適正化等審議会について

高嶋学校教育課長 1月29日に開催した第1回八代市立幼稚園規模適正化等審議会について会議録により説明

質疑応答では、委員から夏季休業中の預かり保育について質問があったため、時間設定、見守り人数についてお答えした。  
意見交換では、

- ・園児数が少なくなり質の高い学びができるのか不安である、私立幼稚園も同じ状況なのか教えてほしい。
- ・保護者のニーズにより時間を延ばすということが考えられるが、教育者の質が高まらないと教育の質も高まらない。
- ・保護者のニーズだけでなく子供のことを考えていかないといけない。
- ・子供の遊びは、とても落ち着いている点がいいが、大人数だと声が出て学びや活気が出てくると思う。
- ・幼稚園教育のPRが足りないのではないかなどの意見を委員からいただいた。

水田教育委員

各委員の質疑応答や意見交換を読むと保護者のニーズで考えていくことが多いという部分に同意見である。子供の目線で考えると幼稚園が楽しかった。保育園と幼稚園を経験した子供に聞くと市立幼稚園が楽しかった。先生も良かったと言うので、市立幼稚園の在り方が子供にとって素晴らしいんだと思っている。多様な保育ニーズへの対応、選ばれる幼稚園を実現するということが課題になってくると思う。決まった時間を変えられないとすると、61ページの今後幼稚園、小学校、中学校で連携していくという部分に加えて、各園で未就学児の体験の日を設定されていると思うが、その際に八代市全体の小さい子供を抱えている保護者を対象に悩み相談窓口を設置し、悩みの多い時期なので、幼稚園、小学校に行くに当たっての心配事を聴いてもらえるような機会があると、幼稚園に触れていただく機会が増えるのではないかと思う。

4. 連絡事項

教育政策課 畳の寄附について  
 学校教育課 辞令交付式について、校長連絡会議について  
 教育サポートセンター 令和2年度のくま川教室について、くま川教室開級式について  
 博物館 冬季特別展覧会について、今後の展示について  
 事務局 4月定例会日程確認(4/20 14:00~)

5. 会議録署名委員の指名

富田委員・松永委員

6. 閉会

(午後5時22分 閉会)

令和 年 月 日

署名委員

---

---

記録者

---